

はじめに

相模原市と町田市は、首都圏のベッドタウンとして人口増加を続け、平成11年には国の第5次首都圏基本計画において「広域連携拠点（首都圏の拠点都市のうち、広域的中心性を有し、首都圏全域にわたる広域的な機能を担い、連携・交流の要となる都市）」として共に業務核都市に位置づけられるなど、強いつながりを持ちながら急速に成長してきた都市である。また、市民の勤務先、買物行動等においても、両市のつながりは強く、境界意識は薄れている。

両市のほか隣接する八王子市も含めると、人口規模は約170万人となり、大きなポテンシャルを持つ都市圏が存在している。各市の特長を活かしながら、首都圏南西部の拠点都市として発展するためには、共通する課題に対して連携して対応していくことが重要と思われる。

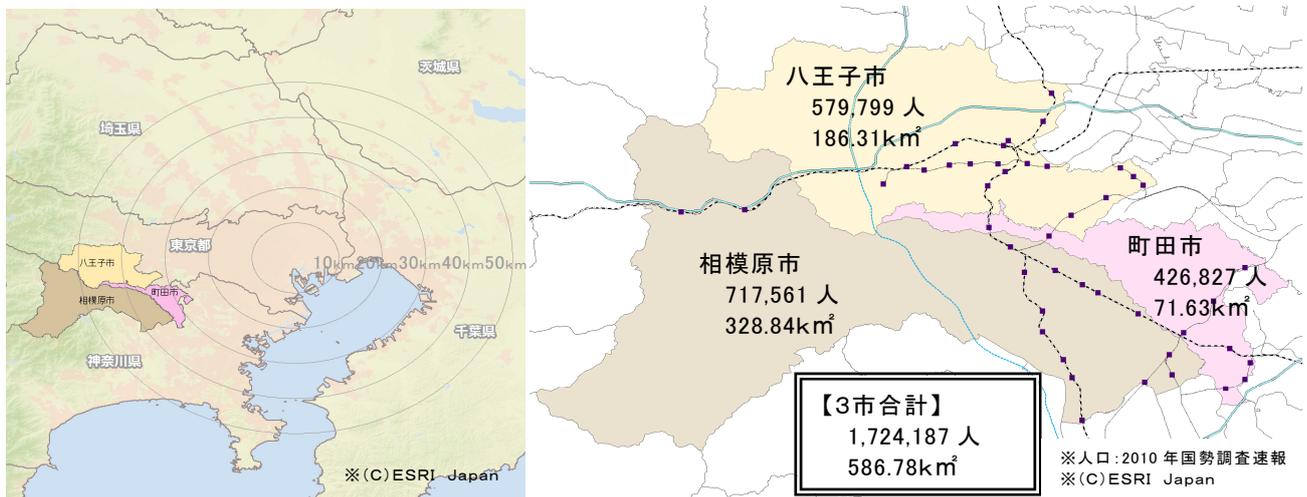
本研究は、自治体間の連携の可能性を検討するためのスタート段階といえる、基礎的データの収集・整理を目的として行ったものであり、各種データを視覚的にわかりやすく地図上に表記し、3市（相模原市、町田市、八王子市）それぞれの特徴や、3市を一つの圏域とした場合の首都圏における位置づけを把握できるように工夫している。

行政職員のみならず、市民の皆様にも地域への関心を高めてもらうきっかけとなれば幸いである。

<共同研究の概要>

1 対象エリア

相模原市、町田市、八王子市（八王子市は人口規模が類似していることに加え、相模原、町田両市に隣接し、施設の共同利用など既に様々な連携を行っているため同一圏域として含めている。）



2 担当部署

相模原市：企画市民局企画部広域行政課さがみはら都市みらい研究所

町田市：政策経営部企画政策課

3 進め方

月に1回程度打合せを設け、それぞれの進捗状況確認やデータの分析を行い、共通認識を持つとともに、両市の実態や課題に関する情報交換を行い、研究内容の充実を図った。

< 報告書の構成 >

1 各種行政分野に関するデータ（「統計でみる市区町村のすがた 2010」）の分析

総務省統計局は、地方公共団体等の各種施策及び地域分析の基礎資料を提供することを目的に、国民生活全般の実態を示す種々のデータを収集・加工し、これを体系的に編成した「統計でみる市区町村のすがた」を提供している。このデータ集の特色は、幅広い分野にわたる統計データが市区町村別に整備されている点であり、他市区町村との比較によって特定のエリアの地域分析を行うことが容易である。

本研究では、最新版の「統計でみる市区町村のすがた 2010」から東京都、神奈川県、埼玉県及び千葉県内の市区町村のデータを抜粋し、首都圏のすがたや3市の特徴がわかりやすいように加工した上、地図データとして表示し、分析している。

2 3市エリアの500mメッシュ（平成17年国勢調査、平成18年事業所・企業統計）の分析

地域メッシュ統計とは、経緯度に基づき地域をすき間なく網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域に関する統計データを編成したものである。地域メッシュは、ほぼ同一の大きさ及び形状の区画を単位として区分されているため、地域メッシュ相互間の事象の計量的比較が容易である上、市区町村の境界をまたいでデータが存在するため、複数の市区町村をあわせたエリアを面的に分析するのに最適である。

本研究では総務省統計局が編集した「平成17年国勢調査に関する地域メッシュ統計」及び「平成18年事業所・企業統計調査に関する地域メッシュ統計」から、特に3市エリア内の地域の人口や事業活動の特徴が明らかとなるようなデータを抜粋し、加工した上、地図データとして表示し、分析している。

3 3市エリアの土地利用状況（都市計画基礎調査）の分析

本研究では、平成19年度に東京都、平成17年度に神奈川県が実施した都市計画調査結果に基づき、それぞれ編成された「東京都都市計画地理情報システムデータ（東京都都市整備局）」「神奈川県都市情報システムデータ（神奈川県県土整備局）」から、3市エリア内の土地利用の状況等を的確に把握できるようなデータを抜粋したものを、地図データに加工して、分析を加えて掲載している。

4 3市エリアの地価（公示価格）の分析

本研究では、国土交通省が地価公示法に基づき、毎年1月1日時点における標準地の価格を公示しているものの中から、用途区分を「住宅地」に限定し、3市エリアを抽出、地図データに加工後、分析している。平成22年の公示価格や、平成7年、12年、17年との比較をポイントで示すとともに、公示価格の動向の要因の一つである新設住宅着工戸数の推移等についても掲載している。

～ 目 次 ～

第1章 各種行政分野に関するデータ（「統計でみる市区町村のすがた 2010」）の分析 統計と地図でみる首都圏のすがた ～相模原市、町田市、八王子市の現状～	3
第2章 3市エリアの500mメッシュ（平成17年国勢調査、平成18年事業所・企業統計）の分析	
1 人口	5 1
2 世帯	6 5
3 住居	7 7
4 労働力	8 9
5 産業	1 0 8
第3章 3市エリアの土地利用状況（都市計画基礎調査）の分析	
1 住宅用地の状況	1 2 5
2 農業用地の状況	1 2 6
3 山林の状況	1 2 7
4 工業用地の状況	1 2 8
5 商業等用地の状況	1 2 9
6 公園、運動場等の状況	1 3 0
7 未利用地等の状況	1 3 1
8 建物現況（建物の構造）	1 3 2
第4章 3市エリアの地価（公示価格）の分析	
1 平均公示価格の推移	1 3 5
2 平成22年公示価格（住宅地）	1 3 6
3 平成22年公示価格の比率（住宅地）	1 3 7
4 新設住宅着工戸数	1 4 2

【編集】

さがみはら都市みらい研究所 第1章、第4章

町田市政策経営部企画政策課 第2章、第3章